

令和元年（2019年）度

第1回 熊本市社会福祉審議会児童福祉専門分科会

日時：令和元年（2019年）10月21日（月）10時00分から

場所：熊本市議会棟2階 予算決算委員会室

出席委員：委員8名

伊藤良高委員、伊藤大介委員、上村委員、木村委員、後藤委員、重岡委員、津地委員、  
吉村委員

欠席委員：田尻委員、嘉悦委員

次第

議事

- (1)熊本市子ども輝き未来プラン2015に関する施策の実施状況報告（資料1）
- (2)熊本市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理（資料2-1, 2-2）
- (3)認定こども園設置認可等に関する報告（資料3）
- (4)利用定員にかかる意見聴取（資料4）
- (5)その他

## 1 開会

---

- 事務局 ・子ども未来部長挨拶、資料説明。

## 2 議事

---

- 伊藤会長 次第に沿って議事を進める。議題1「熊本市子ども輝き未来プラン2015に関する施策の実施状況報告」について、事務局より説明をお願いしたい。
- 事務局 資料1「基本方針1」について事務局説明。
- 伊藤会長 質疑や意見はないか。
- 津地委員 資料1 P26 保育所のサービスについて（保育幼稚園課）  
第三者機関の評価とは具体的にはどのような内容が実施されているか。
- 事務局 苦情に対する相談体制等の項目ごとに、第三者機関が各保育所を評価している。
- 津地委員 地域型保育所の質の確保のために、ある程度、行政の指導・監督等が必要だと以前発言したところ、そのように取り組みたいとの回答があったが、対応状況は。
- 事務局 毎年、全ての地域型保育所に対し、監査を実施し、その際に指導・監督を行うことで、質を確保している。
- 津地委員 その結果、指導にまで至るケースはあったのか。
- 事務局 改善命令等の重大な指導に至ったケースはない。
- 津地委員 質の確保は、地域型保育所に限らず、重要であるため、しっかり取り組んで欲しい。
- 事務局 資料1「基本方針2～4」について事務局説明。
- 伊藤会長 質疑や意見はないか。

- 後藤委員 資料1 P51～ 妊婦・乳幼児健康診査について（子ども政策課）  
里帰り出産等の事情もあるため、受診率の実績値が目標値の100%を下回るの仕方がない部分もあると思うが、未受診者がいるという現状に対し、どのような取り組みをしているのか。
- 事務局 未受診者に対しては、受診勧奨を行っている。
- 後藤委員 受診勧奨よりも、その後のフォローの方が重要ではないのか。  
現在は、疾病を見つけることよりも、要保護児童の発見に繋げることや未受診者のフォローが重要であるように思えるが。
- 事務局 虐待防止のためにも、特定妊婦の支援に繋げていきたい。
- 後藤委員 資料1 P57 予防接種について（感染症対策課）  
麻しん風しん混合2期の接種率が、H30の91.8%に下がった原因は、95%を超えないと、いわゆる社会的防衛はできないが。
- 事務局 担当課が出席していないため、後日、回答としたい。  
（以下、回答内容）  
接種率については、便宜上、毎年9月1日現在の6歳児（H30年9月1日は6,986人）を対象者として算定しておりますが、実際の対象者とは誤差があり、統計上は高くなったり低くなったりいたします。お尋ねの平成30年度接種率が91.8%に下がった具体的な理由は不明である。  
なお、実際の対象者に、より近いと思われる今年度小学1年生になった実数6,682人（5/1時点）で接種率を算出した場合、接種率96.0%（2期接種者6,414人÷小学1年生実数6,682人）である。  
委員ご指摘のとおり、接種率95%以上を目指して取り組みたいと考えており、予防接種率の向上を図るため、未接種者への勧奨をはじめ積極的に啓発を行う。
- 後藤委員 資料1 P17～ 病児・病後児保育について（子ども支援課）  
利用者のニーズ量は確保できているようだが、供給する施設側から問題・課題は挙がっていないのか。
- 事務局 施設側からは、連絡のないキャンセルにより受け入れ可能だった方を断

るケースが増えているという意見を伺っている。

- 後藤委員 施設の閉鎖などが起きていると思うが、その点はどうか。
- 事務局 病児施設というのは、どうしても流感等は時期に波があり、その時期の供給量の確保は、たしかに問題である。その対策として、昨年度から保育所等での予防を促進する病児・病後施設には委託料を加算し、事前予防を図る事業を実施している。
- 吉村委員 資料1 P27～ 放課後児童クラブについて（青少年教育課）  
熊本市は、学校施設を利用して実施しているため、管理責任者の所在や保険適用が複雑になっている。現場の指導にあたられ支援員が分かりやすいように周知をお願いしたい。
- 事務局 児童育成クラブの入会にあたり、スポーツ安全保険に加入いただいているので、児童育成クラブ中に起きたケガ等是对応できる。そのことについて、支援員に研修で周知しており、今後も周知を徹底したい。
- 吉村委員 また、児童育成クラブ中にケガをした場合、学校内の養護教諭に業務外で対応してもらっているのが現状であると思うので、正式に対処をお願いした方が良いのではないか。
- 伊藤会長 今後に繋げるべき課題の提案があったと思うので、次期子ども輝き未来プラン等へ反映させていただきたい。  
次に、議題2「熊本市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理」について、事務局より説明をお願いしたい。
- 事務局 資料2-1, 2-2「熊本市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理」について事務局説明。
- 津地委員 乳児家庭全戸訪問事業について（子ども政策課）  
地域での訪問支援は、多くは民生委員、児童委員が実施している。11月末に一斉改選が行われ、恐らく三分の一から二分の一の委員が新しく委嘱を受けることになる。新任の委員は、訪問支援員としての研修は受けていないため、12月等の訪問には支障をきたしたので、出来る限り早く研修を実施してほしい。その計画はあるのか。

- 事務局 研修は、実施時期や内容を計画しているところである。詳細が決定次第、連絡させていただく。
- 重岡委員
- (1) 結婚・子育て応援サイトにおける保育園空き状況公開システムについて  
空き状況が、○、△、×と曖昧な表示であるため、保護者は何園にも問合せをする必要があり、あまり意味を成していないように思われる。より精密な情報を公開する予定はないのか。
  - (2) 3～5歳児の無償化に伴う預かり保育について  
全国においては、教諭の負担増等の理由で、申請を断る事例が多発しているそうだが、本市においてはいかがか。
  - (3) 小規模保育所からの地域型保育所等への連携について  
3歳の壁と言われているが、連携先の保育所等が入園を断る事例等はないのか。無償化に伴い、3歳以上の保育の需要がかなり高まっていると思われるが、本市における現状についてご説明いただきたい。
- 事務局
- (1) 結婚・子育て応援サイトにおける保育園空き状況公開システムについて  
空き状況が3人以上なら○、1人なら△といったように表示している。各園で、申込があると随時、情報更新を行っているため、現状のように運用させていただきたいが、委員からの意見も踏まえ今後検討していきたい。
  - (2) 3～5歳児の無償化に伴う預かり保育について  
預かり保育の無償化の対象施設か否かの確認をしているところであるが、今のところ申請辞退者が多発しているとは聞いていない。全国的な流れを見ていると、本市でもそのようなケースが出ることも考えている。
  - (3) 小規模保育所からの地域型保育所等への連携について  
昨年度4月と今年度4月を比較すると、小規模保育所から連携施設への入園者数は微増している。ただ、連携施設以外への入園者もいるのは認識している。代替保育や集団保育等も踏まえながら対応するとともに、地域型保育所へは全体指導を行うなかで状況確認していきたい。

- 重岡委員 小規模保育からの地域型保育所等への連携について  
連携先の保育所以外でも、保護者ファーストの目線で、小規模保育から保護者が希望する保育所等へ入園できるように考えないのか。  
ほとんど、幼稚園への希望はない中で、連携先は幼稚園で良いという制度設計をされている点について見直しをご検討いただきたい。
- 事務局 小規模保育後にも、保育が継続できるように制度を設計しているところであるが、幼稚園への入所希望が少ないという点については、現状を確認し、精査していきたい。
- 伊藤会長 次の議題に入る前に、事務局から提案があるとのことなのでお願いしたい。
- 事務局 議題3「認定こども園設置認可等に関する報告」及び議題4「利用定員にかかる意見聴取」については、審議内容を公にすることにより、法人等の競争上の地位、財産権その他正当な利益を害する恐れがあるため、非公開という形で行いたいため、傍聴者及び報道関係者についてご退席いただきたい。
- 伊藤会長 事務局提案があつたがそれでよろしいか。  
(異議なし、退席)
- 伊藤会長 その他の議題ということで、「子どもの未来応援基金 子ども食堂枠の審査」についてですが、日程調整が困難であつたため、持ち回り説明による書類審査という審査方法で行つたところである。  
団体に直接説明をしていただき、委員が一同に会し、議論を行うことにメリットがあるというご意見を頂いたので、次回以降はそのような審査方法で行っていきたい。  
以上で本日の議題を終了する。

### 3 閉会

---